

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第35号 平成23年11月26日

勝ち切れなかった後続のバッテリー・・・

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
N	0	0	0	0	1	0	2	0	3
G	0	2	0	0	1	0	0	0	3

達脇4回をノーヒット・ノーラン！！



11/26(土)岡村公園野球場に出向き、ニューイヤーズとオープン戦を行った。前節と前々節は、雨天中止であっただけに、今日のゲームは野球に飢えている感じがした。また、その雨天時に練習した投内連携なども確認するには、今日のゲームが待ち遠しかった。さて今日の先発は達脇、その彼に託された使命は与四球の数、そう目標は0であった。その立ち上がり先頭の打球は、右フェンス際の難しい打球、今日右翼に入った中村が好守を見せ1死、その後は3球で凡打に斬り、見事な発進を見せた。続く回には、不運にも三振振逃で出塁を許すも、一人で相撲を取る事無く、見事な打たせて捕るピッチング、3回には、今日初の四球を出し、犠打で2塁まで進塁を許すが、センター智の好守でDPを捕り、またもや0封、4回にも三者を凡打に斬り、ここでマウンドを降りたが、恐らく自身初の投球数の少なさで見事ノーヒットノーランでマウンドを降りた。その達脇を援護する打線であるが、初回からランナーを出し、先制のチャンスを作るが、クリーンアップが凡打に倒れ、初回は0点であった。しかし、2回、この回先頭の中村が初球を右越に2ベースを放つと、続く早打ちマックの一人、たかあきが初球をリストを利かせたバットで3ベースを放ち先制点を挙げた。後続は凡打に倒れたが、今日9番に入った智がきっちり叩き、三塁からたかあきを迎え入れ2点目を挙げた。5回からはバッテリーが一新し、僅差の勝ちゲームに持っていかと思ったが、今日の2番手祐太郎はぴりりとしなかった。先頭打者こそ、三振に斬ったが、後続に今日チーム初の被安打をレフト前に運ばれた、そして2盗、3盗を許した、この3盗を制すために投げた送球がそれ、あっさり1点を献上。続く回には、智の安打と走塁、そして確実に叩くバッティングで1点を挙げ、今度こそ、僅差の展開・波に乗るかと思ったが、何とドラマは、最終回の7回に待っていた。この回の先頭打者が安打で出塁、続く打者には、今日3個目の四球で、無死1・2塁、続く打者に投じた投球がWPとなり、無死1・2塁の同点場面に、しかし、この打者は二飛で斬るものの、次打者の場面でまたもWP、これで3塁走者がホームインし1点差、場面は1死3塁、そして、続く打者にもWPでまたもや3塁走者をホームに迎えてしまい、同点となってしまった。その後は、双方共に残塁を出し、結果、時間切れの引き分けとしてしまった。内容とすれば、それ程悪い内容では無かったと思う。しかし、勝ち切れなかったのには、やはり理由がある。まずは投手、球速よりはコントロール、それは今日の達脇が立証したようなもの、次投手のスタンバイの問題もあるが、この変は、早めの投手交代としたい。続いて打線、何と3回と4回に相手投手に投げさせた球数はたったの12球(3回5球、4回7球)積極性とは良い言葉で有るが、単なる早打ちにならないようにしなければ、相手投手を揺さぶる事は出来ないであろう、そして、最後は走塁、今場面は、どういう場面なのか、ベースランナーの足力は、打者は?等々、その場面を感じる事は、非常に重要な事であろう。結果オーライで勝利をしてもその先には繋がらないのだから・・・

さー、いよいよ、次節は、KSCの決勝です。考えて相手のミスを誘う野球をチームで行い3連覇を目指しましょう！